



サケよ、たくさんのぼれ 今年もウヨロ川でペッカムイノミ



今年もサケが遡上^{そじょう}する季節になりました。

9月5日(月)、ウヨロ川でアイヌ民族博物館の職員が、川の神様にサケがたくさんぼるよう祈願する儀式、ペッカムイノミを実施しました。

海岸にはサケを釣る釣り竿がたくさんたっていました。サケは海岸近くで川にのぼる準備をしているのでしょう。今年もまた、多くのサケが川に上ってくるのが楽しみです。
(木田瑞恵)

アイヌ語教室のご案内

- | | | | |
|-----------------------|---------|--------------|-----------|
| 9月25日(日) 18:00~19:30 | 博物館 研修室 | アイヌ語入門 | 講師: 本田優子氏 |
| 9月30日(金) 18:00~19:30 | 博物館 研修室 | アイヌ語弁論大会にむけて | 講師: 安田千夏氏 |
| 10月14日(金) 18:00~19:30 | 博物館 研修室 | アイヌ語弁論大会にむけて | 講師: 安田千夏氏 |
| 10月15日(土) 18:00~19:30 | 博物館 研修室 | アイヌ語入門 | 講師: 本田優子氏 |
| 10月28日(金) 18:00~19:30 | 博物館 研修室 | アイヌ語弁論大会にむけて | 講師: 安田千夏氏 |

第3回アイヌ文化教室

学校教育とアイヌ文化



今、学校教育では、アイヌ文化についてどのように教えるかが課題になっています。昨年に続き、今年もアイヌ民族博物館では、白老町教育委員会と協力しての催しを行っています。

9月3日(土)、当館客員研究員で札幌大学助教授の本田優子先生による「学校教育とアイヌ文化」についての講演会を行いました。町内の先生方を含む27名の参加者が熱心に聞き入っていました。

講演の中では、平取町立二風谷小学校で行われているアイヌ文化学習を紹介し、また札幌市のアイヌ教育の推移を例に出し、これまでのアイヌ文化学習の傾向と今後求められる点を指摘しました。

最後に、「アイヌの子弟にも、和人の子弟が受ける民族教育と同等の質と量の情報を与える必要がある。学校に自己の民族の歴史を知りたいと思う子が1人だけでもいたら、それに応える準備をしてほしい。それが子ども達の当然の権利である。保障されるべき教育を考えて、先生も一緒に学び、勉強を進めていってほしい。」と結びました。(木田)

博物館実習

とても面白かった もっと続けたい

今年度2回目の博物館学芸員実習を、9月31日から6日間実施しました。実習生は、千葉大学4年生の毛利夏子さん、北海道文教大学(恵庭市)4年生で地元白老出身の垣通真二さんの二名です。

実習は、実際の学芸員の仕事を体験するのが目的で、期間中、文献リスト作成等の仕事の他に、北海道博物館協会主催のミュージアム・マネージメント研修会、博物館行事のペッカムイノミやアイヌ文化教室の特別事業に参加して感動が大きかったようです。

二人とも「実習後には考え方に大きな変化があった。学芸員という職業の重要性を感じ取った。」「アイヌ文化についてより関心が深まり、研究を続けていこうという意志が一層強くなった。」と、口々に語っていました。

(木田)



企画展 第2回 ポロトコタンのエカシとフッチ展

「西平ウメのトンコリ」

10月29日(土)～ アイヌ民族博物館1階展示室

樺太アイヌの弦楽器 トンコリを中心とした、西平ウメ氏の伝承及びトンコリの総合的研究の成果を紹介。